

**レッジョ・エミリア市を視察して vol.6(最終)**

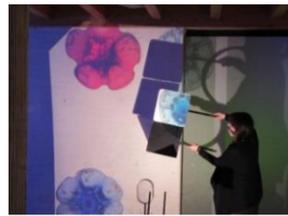
「ローリス・マラグッツィ国際センター レッジョ・チルドレン」は、レッジョエミリア・アプローチの教育システムの普及、管理、研究を担っている拠点として、世界中からたくさんの方が学びにやってきます。

私たちは、まずペタゴジスタから、レッジョエミリア・アプローチが作られた経緯や趣旨、どのように子どもと関わっているかについて話を聞き、その後施設を回りながら、アトリエリスタから作品の説明を受けました。

「アプローチ」とは「こうしなさい」ではなく「こうやってみたら」という提案で、大人が子どもに「教える」のではなく、共同して活動に参加しています。教師・子ども・保護者は対等な関係で学び合うということが重視されています。子どもを一市民としてとらえ地域全体で関わっていて、「子どもたちがこの町に何が出来るか。子どもたちがレッジョの文化を作っている」と話された言葉が心に残りました。

子どもたちは様々な物を使って表現しています。教師は子どもの迷いや揺らぐ気持ちに寄り添いながら、子どもが決めていく過程を大切にしています。光を使い、影との対比や色の変化などを取り入れた、たくさんの作品を見ながら、ものの見方や考え方が無限にあることを、こういうところからも学んでいるのだと感じました。

この視察で、子どもが何才であっても気持ちや考えを尊重し、その子どもに何が必要かを考え、子どもの力を信じる現場を見ることができました。今後の活動につなげていきたいと思えます。



**お知らせ**  
**「子どもフリーマーケット」**  
**参加者募集中!!**

- ・日時 **5月26日(土)**
- ・場所 **岡崎山継松寺**
- ・参加対象 **小学1年生～6年生**
- ・参加費 **1ブース 500円**
- ・定員 **10ブース**
- ・店長会議日程 **5月12日(土)**

チャイルドラインMIE ネットワークでは、毎年、年次報告書を作成しています。チャイルドラインにかかってくる子どもの電話をもとに、電話の内容から見える子どもの姿を分析し、発信しています。また、ご支援を頂いている団体からの寄稿・事業内容も報告しています。



- チャイルドラインMIE**  
(きいてほしいな...) 子どもの心を受け止める  
18歳までの子ども専用電話  
**0120-99-7777**  
毎週 月曜日～土曜日  
午後4:00～午後9:00
- こどもほっとダイヤル**  
(助けて!も言える) 子どもだけが相談できる  
18歳未満の子どものための相談電話  
**0800-200-2555**  
毎日 午後1:00～午後9:00  
(12月29日～1月3日はお休み)



Spring No.201  
2018年5月1日  
発行元：特定非営利活動法人  
松阪子どもNPOセンター

**2018年度 事業スケジュール**

<b>4 April</b>		<b>10 October</b>	<b>10/27(土)・28(日)</b> まちをあそぶ武四郎さん(仮称)
<b>5 May</b>	<b>5/26(土)</b> 子どもフリーマーケット (松阪撫子どんな花?祭りin岡崎山継松寺)	<b>11 November</b>	まつさかファミリーサポートセンター ステップアップ講座(日程未定)
<b>6 June</b>	<b>6/23(土)・24(日)・30(土)・7/7(土)・8(日)・14(土)</b> チャイルドライン養成講座 (三重県津庁舎・アスト津)	<b>12 December</b>	まつさかファミリーサポートセンター 交流会(日程未定)
<b>7 July</b>	<b>7/18(水)・19(木)・21(土)・22(日)・25(水)</b> まつさかファミリーサポートセンター 援助会員養成講座(嬉野ふるさと会館)	<b>1 January</b>	まつさかファミリーサポートセンター 援助会員養成講座(日程未定) 度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター 提供会員養成講座(日程未定)
<b>8 August</b>	<b>8/28(火)・29(水)</b> こどものためのシェイクスピア「冬物語」 観劇ツアー(名古屋)	<b>2 February</b>	<b>2/2(土)</b> ゆきあそびツアー (奥伊吹スキー場)
<b>9 September</b>	<b>9/17(祝・月)</b> 度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター 交流会	<b>3 March</b>	<b>3/2(土)</b> チャイルドラインチャリティ映画会 (農業屋コミュニティ文化センター)

**●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●**

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円  
※入会金：300円

会員数 正会員：25名 参加会員：4名 支援会員：83名 賛助団体会員：25団体(4月末現在)

<b>【賛助団体会員】</b>	・医療法人河合産婦人科	・鎮守の森を夢見る会・その二	・松阪市健康体操連絡協議会
・医療法人イワサ小児科	・医療法人桜木記念病院	・東海印刷株式会社	・まんのう整形外科
・うれしの太田クリニック	・ささおこどもクリニック	・東海シール株式会社	・医療法人南産婦人科
・株式会社SK スズキ	・株式会社ジェントリー	・ナガフジ産業株式会社	・医療法人社団鷺尾小児科
・大久保クリニック	・上瀬クリニック	・はせがわこどもクリニック	・他一団体
・おおたクリニック	・医療法人たるみ内科胃腸科	・健康体操ひまわり会	
・岡田パッケージ株式会社	・医療法人地主矯正歯科クリニック	・株式会社富士土地	

**特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター**

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F(開所日・時間 月～金10:00～17:00)  
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpojp/> eメール [info@mknpojp.jp](mailto:info@mknpojp.jp)

**ゆきあそびツアー**

日時 2月3日(土)6:30～19:00  
行き先 奥伊吹スキー場(滋賀県)  
参加者 75名



今年度は最初、参加者36名の募集でしたが、すぐに定員になり急遽、バスを増やし2台で行くことになりました。回を重ねることでリピーターの方も増え、今回はお友達同士が誘い合い家族での参加が多くみられました。

今年は寒波が何度も到来し、とてもいい雪でゆきあそびを満喫できました。時間も忘れてそりあそびを親子で楽しんでいる姿がありました。スキーはスキー板をはいて自分で立ち上がることが第一歩です。親も口を出すことはできませんが、手出しせずに見守ることしかできません。これも自立のひとつだと思いました。

# 「社会的養護の社会化フォーラム」 ～つながってみんなで育てたらええやん～

日時 2018年3月17日(土) 10:30~16:00  
 会場 三重県人権センター(多目的ホール)  
 参加者 39人/350人(松阪地域)

「社会的養護の社会化フォーラム」に1年以上取り組んできました。「社会的養護」とは何か?というところからスタートして、実行委員会や分科会では行政の方、里親の方、企業の方などたくさんの方々と出会い、子どもの現状を知り“子どもにとって”よりよい支援をするためには、どうすればよいかを考え合うことができました。地域にも映画会の開催などとおして「社会的養護」について投げかけました。実際「私に何かできる事はありますか?」と事務所を訪ねてくださる方もあり、少しずつではありますが考える機会になったと感じています。つながることが大切と言ってもしていないことが多くあります。子どもが育つ地域の中で、一歩踏み出してつないでいくことが私たちの役割だと考えています。

## 基調講演 演題「子どもが生きる力」を守る居場所 講師 荘保共子さん(こどもの里理事長)

大阪市西成区釜ヶ崎は昔から日雇い労働者が多く、貧困や差別があり、しんどさを抱えた子どもがたくさんいます。荘保共子さんは、その土地で40年にわたり、子どもたちとその子どもたちを取り巻く大人たちに関わってこられました。

荘保さんのお話から、お金に困る親を何とかして助けようとしたり、暴力を受けても親を慕い続けたり、学校に行くのを我慢したり、家族のために何が出来るかを一生懸命考え生きている子どもたちの姿が見えました。様々な困難にぶつかっても、乗り越える子どもの力を改めて感じました。そしてそこには、聴いてくれる大人、寄り添う大人、SOSをキャッチしてくれる大人がいて、ありのままの自分を出せる「居場所」になるのだと感じ、まさに子どもの権利が保障される場であると思いました。

地域の中で自分にもできることがあるのではないかと考える機会になりました。

## 第7回 チャイルドラインチャリティー映画会 「さとにきたらええやん」

日時 2018年2月25日(日) 10:00~・13:30~・19:00~  
 会場 農業屋コミュニティ文化センター  
 参加者 193人

大阪・西成区にある「こどもの里」での日々の暮らしを撮ったドキュメンタリーです。そこには、厳しい環境や様々な困難を抱えた子どもや親にぶつかり合いながら、寄り添う「さと」が映し出されていました。



### 感想(アンケートより)

- ・地域にこんな「さと」があることで助かる人がいる、育っていける。
- ・子どもの本当の幸せを願う、里の関わり方に感動しました。
- ・自分にできることは何かを考えました。
- ・目の前にあることを、少し意識を強く持って大事にしたい。
- ・「心とフトコロが寒い時こそ胸を張れ〜」劇中歌に心打られました。

感動!!

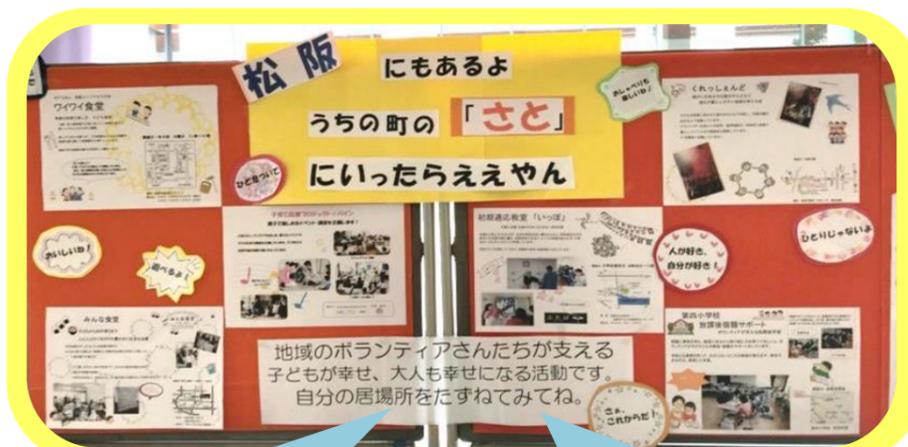
涙...

つながって  
みんな  
で育てたら  
ええやん



### 子育て・子育て支援団体を 取材したパネル展示

みなさんの熱い想いが伝わってきて、それぞれが「さと」であると感じました。ご協力ありがとうございました!



- ・くれっしえんど
- ・第四小学校放課後宿題サポート
- ・初期適応教室「いっぽ」

- ・ワイワイ食堂
- ・みんな食堂
- ・子育て応援プロジェクト☆パイン

### 分科会 自立につながる居場所をつくらうみんなの思いをKJ法にのせて

参加者 4人/34人(松阪地域)

この分科会はKJ法ですということ、10名程度の5グループに分かれました。グループの中には、行政の方、大学生、子育て支援をしている団体、民生委員の方等が参加していました。「自立につながる居場所をつくるには」というテーマで、意見をみんなで交わしました。

- ・安心・安全でやすらぎがあり自分のペースで過ごせる場所が地域に必要
- ・社会に出てからの相談する相手。特別支援の子どもたちの社会の受け入れ体制の充実
- ・人の関係の中に自立がある
- ・相談するには気持ちが出せる何でも聞いてくれる相手
- ・制度にのっとった場所で地域の中でのネットワーク
- ・子どもも大事だけど大人の相談できる場所も必要
- ・居場所に来られない子どもたちには地域の目、人の目が必要
- ・居場所のスタッフ体制を整える



### ロビー企画も大賑わい!!



- ・ファンド活動
- ・的当てコーナー
- ・バルーンアート



### トーク会

日時 2018年2月25日(日) 15:30~16:30  
 会場 農業屋コミュニティ文化センター  
 参加者 15人

2つのグループに分かれて、映画で印象に残ったシーンから感じたことや、思いを話し合いました。「大人対子どもになってしまい深いコミュニケーションが難しい(みんな食堂関係者)」「子どもがケガしたときによそのお母さんの所に行ってショックだった」などのエピソードから「寄り添う」ことの大切さを話しました。

「地域で身近に居場所ができるといい」「人とのつながり、支援団体同士のつながりも大事」という意見交換もあり、それぞれが子どもたちのためにできることを考える機会になりました。